

# 平成31年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

## 磐田市教育委員会の目標

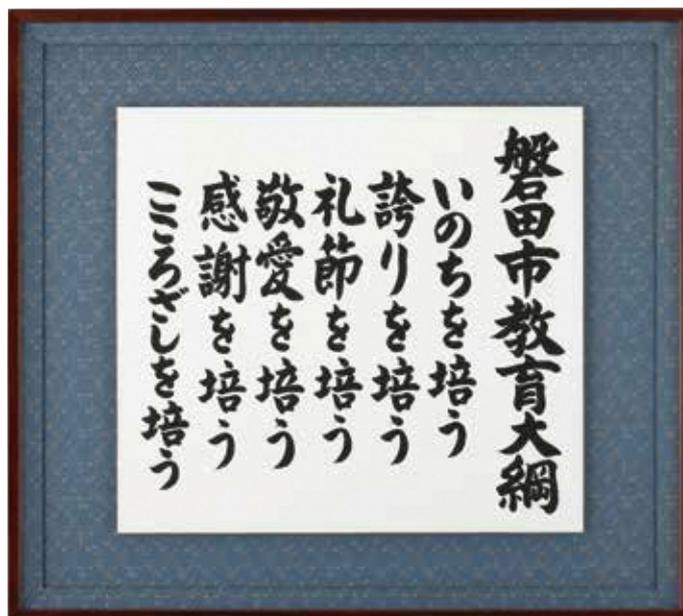
「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべと、子どもたちの成長を育む「磐田市こども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



- ### 「磐田の教育」道しるべ
- 一、かけがえのない命を精一杯生きること
  - 一、自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること
  - 一、美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること
  - 一、勤労・勤勉を喜びとすること
  - 一、真善美に照らし正しい判断をすること
  - 一、大志を抱き困難を乗り越えること
  - 一、敬愛の心を持ち家族を大切にすること
  - 一、感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること
  - 一、年長者を敬い年少者を慈しむこと
  - 一、寛大な心をもって人を愛し許すこと
  - 一、郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと
  - 一、宇宙・自然への畏敬の念をもつこと

平成二十六年三月策定



## 平成31年度 「力を合わせ 心を合わせ」

平成から新しい時代へ、教育界は大きなターニングポイントを迎えます。戦後74年、今までにない大きな変化です。我々の生活にAIが深くかかわり、身の回りのいろいろなものが変化することのみではなく、危惧するのは、人間関係が希薄化し、人間が人間として生きていく規範や人間性そのものが失われつつある変化です。そんな中で、今、人と人のつながりやかかわりを大切に、地域や学校で、「子どもたちの心」を育てることが、この転換期に何よりも重要になってきます。授業を大切にした学力保障はもとより、「道しるべ」にあるように、「ふるさとを愛する優しさ、未来をひらく強さ、豊かで愛情溢れる心」を育てることを求めています。



磐田市は、素晴らしい歴史や文化、伝統をもとに、学府一体校づくりを展開しています。核家族化が進む中、上級生と下級生とのつながりなど、子ども同士のつながりは重要で、それが「真の社会性」を培います。そして、地域とのつながりを深めることで「教育環境の向上」を図り、チーム学校の力を高め、変動の激しさが予想される未来への必要な力となります。

日常性に埋没し「ボーっと生きている」のではなく、子どもたち一人一人を大切に、いのちを培い、「和の理念」を胸に、力を合わせ、心を合わせ、頑張っていきたいと思います。

磐田市教育長 村松啓至

# 平成31年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

## 方針1 子どもの「生きる力」を育みます。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、「生きる力」を育む、魅力ある園(教育・保育施設)・学校づくりを推進することを目指します。

また、「生きる力」を育むため、一人一人の個性を活かし、「個」に応じたきめ細やかな教育指導ができるような環境づくりを目指します。

## 方針2 子どもの成長を支える「地域力」をさらに活用します。

磐田市の豊かな自然・歴史・文化などの学習資源を活かし、ふるさとへの誇りと愛情をもつ子どもを地域全体で育てていくための地域づくりを目指します。

また、子どもの読書環境を充実させ、生涯にわたって読書を楽しむための読書習慣を身に付けることを目指します。

## 方針3 市民が活用しやすい「学びの場や環境」を整備します。

子どもが安心して学べるよう、学校施設の安全を保ち、経済的な理由から就園・就学が困難であったり、特別に支援が必要であったりする子どもの保護者への援助を行います。

また、市民が活用しやすく、主体的に学べるように図書館サービスの向上、歴史遺産の整備活用や歴史文書館における公文書の適切な管理を目指します。



### 施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

小中一貫教育、コミュニティ・スクール、ICT教育、学府一体校等新時代の新たな学校づくり、食育及び安全安心な学校給食、食物アレルギー対応、園や小・中学校の子ども及び教職員の交流、主体性を大切に環境を通して行う保育への支援

### 施策2 「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の充実

スクールソーシャルワーカー、LD等通級指導教室、不登校等対応、要保護児童等対策協議会(子育て支援課所管)、関係機関(医療機関等)との連携

### 施策1 地域の学習資源を活かした教育活動の推進

ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュピロ学校訪問、歴史教室

### 施策2 子どもを健やかに育む地域づくり

学府協議会・学校運営協議会、青少年健全育成、人権教育、放課後児童クラブ

### 施策3 家庭、地域、園・学校における読書活動の推進

茶の間ひととき読書運動、学校・園・その他関連施設との連携によるおはなし会

### 施策1 学校施設などの安全・充実

小中学校普通教室等へのエアコン整備、ながふじ学府一体校整備、公立園の再編・再築(磐田なかよしこども園新園舎保育開始・一部公立園の民営化移行準備)

### 施策2 就園・就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園就園奨励費、私立幼稚園運営費補助

### 施策3 図書館サービスの向上

図書館資料の充実、電子書籍サービスの推進、ボランティア等の育成

### 施策4 歴史遺産の整備・活用

文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事(遠州大念仏等)の継承支援

### 施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、磐田スポーツ部活の運営、ラグビーワールドカップ・オリンピック等のキャンプ地受け入れや機運醸成活動、青少年を対象とした文化芸術の育成

## 教育委員からのメッセージ

世の中のグローバル化と共にモノのインターネット(IoT)や人工知能(AI)等の技術は今後も進み、益々便利な時代が訪れると思いますが、子ども達には、先人の残した足跡に触れ、自然との対話の中で様々な経験をし、周りとのコミュニケーションを図り、知識だけではなく知恵を付け、生きる力を育てたいと思います。そして、将来、自らが進む道を見つけたならば、その世界で大いに挑戦し、羽ばたいてもらいたいと思います。



教育委員  
秋元 富敏

幼児期にいっぱいの愛情をかけて育てられた子は優しく逞しいと言われています。正義感のもとに弱者を助ける勇気と思いやりを持った子は、生涯誘惑に負けず毅然と生きる術も身につけるでしょう。学齢期までが子育ての勝負と考え、善悪をしっかり教えた上で子どもに愛情のシャワーを注ぎたいものです。



教育委員  
青島 美子

磐田の子どもたちには、環境や時代の変化により、どのような社会になろうとも、一度しかない人生をしなやかでたくましく生き抜く力を身につけてほしいと思います。

我々大人が、家庭や学校、地域において子どもに愛情深く関わり、見守ることは、子どもにとって、愛されて育ったという安心感が自信となり、人間形成における真理を追究する見識を身につけ、それを実現させるために生じる困難に立ち向かうパワーとなることでしょう。



教育委員  
鈴木 好美

我が家の小さな庭で「野菜作り」をしています。水をやり、肥料も施しますが、なかなか上手く出来ません。

ある人から「農作物は、まず土作りからですよ」と教わりました。種を播く前の土壌づくりが肝要というものでした。

「磐田市教育大綱」は、子どもたちだけでなく、私たち大人にとっても、人間教育の土壌としての「風土・文化づくり」の大切さが表現されています。今を生きる“道しるべ”としたいと思います。



教育委員  
杉本 憲司

# 磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (平成31年4月現在)

## 1. これまでに進めてきた主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

- ①「「磐田の教育」道しるべ」の策定(H25)
- ②全小中学校の校舎耐震化が完了(H26)
- ③学校校舎屋上への津波避難階段の設置  
(H24福田中・豊浜小・竜洋東小)
- ④磐田北小学校プール施設の改築(H29)
- ⑤放課後児童クラブの利用対象を全学年に拡大(H27)
- ⑥放課後児童クラブの施設拡充《利用人数は、H29年4月の1,470人からH30年4月は1,662人へと増加》
- ⑦ながふじ学府一体校整備基本構想(H28)・基本設計(H29)・実施設計(H30)の策定
- ⑧磐田北幼稚園園舎の改築(H29)
- ⑨磐田なかよしこども園基本設計(H29)・実施設計(H29)・新築工事(H30)
- ⑩磐田市アレルギー対応の手引きの作成(H29)
- ⑪小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑫小中学校への「ふるさと先生」の配置 ～市費負担教員による35人学級の実現～(H17)
- ⑬小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に実施)
- ⑭全小中学校をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に指定(H27)  
《H30は、4人の学府ディレクターと19人のコーディネーターにより地域と共にある学校を推進》
- ⑮「ふるさと礎プラン」 ～校長経験者4人による若手教員へのサポート体制の構築～
- ⑯校務支援ソフト(指導要録、通信票、出席簿等)の導入(H24)
- ⑰校務支援ソフト(超過在校時間の管理)の導入(H30)
- ⑱LD(学習障害)等通級指導教室の拡充(H30)



豊田南小第3放課後児童クラブ(平成30年7月開設)

### ※将来を担う子どもたちのために市全体で取り組む事業

- ①ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦  
《市内全小学校の5・6年生約3,100人の大声援》
- ②広島平和記念式典への小中学生派遣
- ③海外への中学生派遣
- ④家庭教育と青少年支援の充実



ジュピロ磐田小学生一斉観戦

### (2) 図書館と文化財

- ①ブックスタート事業・茶の間ひととき読書活動《乳幼児期からの子どもの読書推進》
- ②デジタルデータベース閲覧サービス提供(国立国会図書館、法律情報、新聞記事)
- ③電子図書館による貸出サービスの開始(H29)
- ④利用者個人による読書履歴情報の記録等(H28)
- ⑤中央図書館へのWi-Fiの設置(H30)
- ⑥遠江国分寺跡整備事業 基本計画(H28)、基本設計(H29)、実施設計及び指定地の公有化(H30)、発掘調査(H29・30)
- ⑦開発事業(遠州豊田PA南地区、区画整理事業や道路改良事業等)に伴う遺跡の発掘調査
- ⑧文化財・民俗資料等保存活用啓発事業  
《訪問歴史教室や施設見学・講座の開催》
- ⑨指定文化財保存事業  
《民俗文化財の指定、映像化及び阿多古山一里塚の整備》



訪問歴史教室

## 2. 現在進めている主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

- ①学府バスの運行拡充《小中一貫教育のさらなる推進のため、学府バス7台を運行》(H29～)
- ②小中学校の防災機能(外壁改修・照明器具落下防止)強化(H26～32)
- ③小中学校の普通教室やパソコン室、図書室へのエアコン設置
- ④小中学校体育館照明のLED化(H30～31)
- ⑤ながふじ学府一体校建設工事(H31～33)
- ⑥食物アレルギー対応の拡大(H24～段階的に実施)
- ⑦給食材料への地産地消の拡大(H29～)
- ⑧ICT機器(大型モニター・書画カメラ・タブレット等)の整備による「わかる楽しい授業」の推進《小・中学校全学級へ導入》(H29～32)
- ⑨スクールソーシャルワーカーの配置
- ⑩市費負担教員の配置による小中一貫教育の推進と生徒指導の充実
- ⑪S.P.E.A.Kプロジェクト《中学3年生全員を対象に、市ALTが民間の外部試験に代わり、英会話の力を調査》
- ⑫修学旅行英会話学習⑬小学校低学年に対する「英語」モデルカリキュラムの実施⑭文部科学省・静岡県「道徳教育推進事業」実施(とよおか学府)(H30～31)⑮教育支援員の配置《子どもへのきめ細かな支援を充実》(H30は87人)
- ⑯ソロバン学習・道徳・食育学習・ウェルカム赤ちゃんの実施《専門性の高い外部講師や地域人材》の協力を得た授業
- ⑰外国人児童生徒支援の拡充
- ⑱ラグビーW杯に合わせた国際理解の促進



ながふじ学府一体校(イメージ)



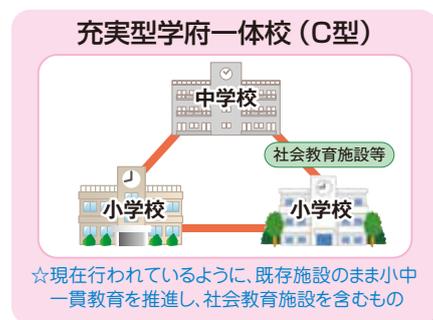
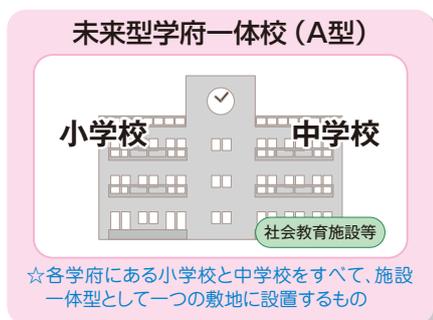
読み聞かせの様子

### (2) 図書館と文化財

- ①英語多読・健康医療情報等資料の充実
- ②電子書籍サービスの充実
- ③読み聞かせ等のボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成や登録
- ④地域に根差した各図書館の特色づくり
- ⑤遠江国分寺跡の整備《木装基壇や燈籠の復元、トイレや四阿の建設に向けての設計》
- ⑥開発事業(店舗建設や道路改良事業等)に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ⑦指定文化財保存事業《民俗文化財の映像化等》⑧歴史文書館企画展等のイベントの開催

## 3. これからの課題

### ①学府一体校の推進



- ②幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
- ③図書館資料の充実と適切な更新、中高生年代の図書館利用の拡大
- ④文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
- ⑤学校給食施設のあり方の検討
- ⑥いじめ・不登校・児童虐待など、学校安全調査等を利用した積極的対応

⇒ 子ども一人一人の「いのち」を大切にしていきます。

編集／磐田市教育委員会  
教育総務課 総務グループ  
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1  
TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517  
kyoikusomu@city.iwata.lg.jp  
発行／平成31年4月